



DISTRICT 2500 OBIHIRO ROTARY CLUB

No. 2927

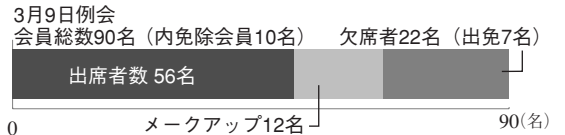
第3245回例会

平成23年3月23日

2010-11年度 国際ロータリーのテーマ
**BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS**
(地域を育み、大陸をつなぐ)

方針 **友情と信頼** 会長 後藤 裕弘

出席報告



■プログラム 新世代委員会 「不登校や引きこもりの人への支援を」

▽「はるにれの会」「たんぽぽの会」 代表 清水マチ子様



不登校の親の会「はるにれの会」と、引きこもり家族の会「たんぽぽの会」の代表を務めさせていただいています。かつて二人のわが子が不登校になったときに、同じ立場の親たちに支えてもらいました。そのお陰で今があると思っています。子どもが成長していくためには、親が変わらなければならないと

実感し、自分の経験を伝えようと活動を続けています。

二つの会とも、親の会です。以前は親だけで活動していましたが、現在は今日一緒に来ている酒井さんのように、不登校や引きこもりを経験したのちに社会に巣立って行った人たちが、自らの経験を社会に還元しようと、自分たちの活動をサポートしてくれています。大変ありがたいと思っています。なにより当事者の投げかけるひと言は、子どもたちに勇気と力を与えてくれます。

家族の会ですので、カウンセリングなどをする場ではありません。親は、不登校や引きこもりになったわが子にはもう将来がないと思ひ込み、暗いトンネルの中で日々辛さを抱えながら生きています。例会では、自分の悩み、困っていることを言葉にして話してもらいます。辛さや悲しみを表現してもらおう場を提供するというのが私たちの役割です。できるだけアドバイスはしません。自分たちの経験を提示する中から、自ら解決策を見つけていってもらいます。

最近、例会に出てくる若いお母さんたちが減ってきています。子どもを何とかしたいという気持ちは同じですが、専門家からの解決策や答えを求める傾向があり、私たちにはそれが提示できないので、足が遠のいているのかと思います。しかし親を支えるということは支援の形として必要だと思っています。自分たちの経験を社会に返したいという気持ちで活動しています。

たんぽぽの会は、青年期になって一度社会に出たものの家に戻ってきてしまい、次の居場所がないという人たちの家族が中心です。社会に出てからの挫折は、次のステップにいくチャンスがなかなかなく、親も子どもも高年齢化していくのが現実です。

学校を卒業しても働けずにいる人たちがたくさんいるなかで、仕事につくということは、かなり高いハードルです。いろいろな人と触れ合って、自分に自信をつけ、成長していかないと社会には出て行けません。学校や社会から外れた子どもたちが成長できる場がほしいと切に願っています。この場を借りて、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

▽大江病院

作業療法士 酒井 一浩様



こうしてお話させていただける機会をいただきありがとうございます。昨年の内閣府の調査で、70万人の引きこもっている人がいるという結果が出ていました。引きこもりや不登校に限らず、社会との接点を失いつつある人、失った人は帯広にも少なからずいると実感しています。

私自身、20代前半の数年間、不登校、引きこもりを経験しました。自分の場合、原因は3つあったと思います。自分には髪の毛がありません。全身の毛が抜けるという病気にかかったのが20代の前半で、ショックでこもりがちになりました。ただ病気にならなくても引きこもっていた可能性があるのではないかと考えます。父との関係に悩んでいたことです。野球のバットを手にしたこともありました。それから父の仕事の関係でドイツで暮らし、小学校2年のときに日本に帰ってきました。幼い頃ドイツ語で生活していた自分に日本人になりきれない部分を感じたりもします。

どうやって立ち直ったかという、特効薬はないと思います。少しずつチャレンジし試行錯誤をするしかありません。何と出会うか、誰と出会うか、そのタイミングが大事だだと思います。私は海外によく行きますが、アウシュビッツに行ったことはターニングポイントのひとつになっています。悲惨な状況を目の当たりにして、自分がその場にいたらどうするといったことを考え、“感じる”経験を積み重ねました。またバイトをしたりして、少しずつきっかけをつかんできました。

大江病院に勤務するようになって、精神科にかかっている人たちでフットサルをする活動をはじめました。回数を重ねるごとに、障害があるなしかかわらず、学生や社会人、外国人などいろいろな人が来るようになりました。さらにバスケット、釣り、テニスなど種目を増やしています。社会との接点を失いがちで、ほとんど家族以外と話したことのない人が、数か月かけてやっと出て来て、はじめは緊張して誰とも話さないんですが、がんばって何回か足を運ぶうちに、少しずつ声が出て話をするようになる。そして元気になるきっかけをつかんで社会との接点を取り戻していく人がいます。そうした人を見ると、とても感動しますし、やりがいを感じます。そういう舞台、環境づくりをするのが自分の仕事だと思っています。もっと当事者たちの居場所、家族以外の人と少しでも接することができる場所を作りたいと思っています。

今度、音更の農家でバイトをさせてもらえることになりました。社会との接点を取り戻すきっかけとしてバイト経験の場ができそうです。ただ、ひとりで出来る事は限られています。いろいろな方に関わっていただくことでいろいろな展開ができますので、みなさんのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

■ボーイスカウトへの助成金贈呈



■帯広RAC今年度活動報告



帯広RAC 幹事 澤田 俊一様
副幹事 小野 栄夫様

・今年度活動報告

今月4日の世界RAデーに、後藤会長をはじめ多くの提唱RCの皆さまにご参加賜り御礼申し上げます。今年度は、提唱RCの親睦会や家族会、また人間ばんばや忠類のソリスベリ大会などの地域イベントに参

加しました。詳細はホームページでは是非ご覧ください。今年築いた大切なつながりは、次年度以降へ引き継いでいこうと思っています。

- ・現在、会員は25名で、このうち6月に7名が年齢退会を迎えます。引き続き新入会員のご紹介にご協力をお願い申し上げます。
- ・フリーマーケット（5/15）への出品物提供のお願い。
- ・次年度の役員体制について
会長/小野 栄夫 副会長/佐々木秀利
幹事/稗貫 由伊 副幹事/若山 貴弘 門馬ひかり

■会長報告



先週はウィンザー様での創立記念日例会でした

が、この度の地震による被害者の方々のことを考え、派手なゲーム等は中止し、その分の予算を義援金に廻すことにさせていただきました。出席人数はいつもの例会とあまり変わりませんでしたが、皆さん仲間同士の会話は弾み、解散後もなかなか席を立とうとしない方が多かったようで、「これで良かった」という気持ちにさせていただきました。

その時お話をさせていただきましたが、義援金のお願いが来ています。2500地区からとロータリー財団からで、地区からの方は寄せられた義援金を全てガバナー会に送金してガバナー会で支援策を決定することです。寄付金控除につきましては帯広クラブの領収証で大丈夫と茨木地区幹事に確認致しております。こちらの担当は合田倫佳会計です。

また、ロータリー財団が発足させた「ロータリー日本・太平洋諸島地震被害復興基金」については、ロータリー日本財団宛送金致しますので、寄付金控除は通常の寄付金と同様に間違いなく有効になります。こちらの担当は小津昌博財団委員長です。ただし、この寄付はPHF認証の対象にはなりません。また、クラブ、地区の年次プログラムの総額にも含まれません。唯一含まれるのは個人の寄付は、寄付履歴に含まれ、大口寄付者認証に向けた寄付総額に含まれます。

この基金は、この度の被災地域における人道的支援と災害復興のプロジェクトのためのマッチング・グラントとグローバル補助金に使用されます。今日みなさまのボックスに申込用紙を入れていただいておりますが、とりあえずいったんクラブでお預かりして、後ほど、みなさんにどちらを選ばれるか決めていただき、送金することにいたします。

前回も申し上げましたが、1923年9月の関東大震災のときには世界503のクラブから89,000ドル、今のお金にして約3億円が送られてきました。東京RCは、その義援金を、東京・横浜の小学校の再建や、被災者救護、殉職警察官遺族への援助などに使いました。さらに東京孤児院内に、新築1棟を寄贈して、「ロータリー・ホーム」と名づけました。なお10年後、東京RCは、このホームの修繕も行いました。

3億円を503クラブで割ると1クラブ約60万になります。幸運にも、当クラブの会員にはほとんど被害の無かったわけで、私達もそのへんを目安にして募金をすれば良いかと考えております。どうかよろしく願いいたします。

先週、皆様に黙祷していただきましたが、犠牲者の皆様のご冥福をお祈りいたします。まだ全容は明らかにならず、毎日被害は大きくなっています。生活の基盤、家も職場も失った方々のことを考えると、とても気の毒でなりません。私としてもこれ程大きな災害は、映画の中でしか考えた事はありませんでした。

後藤 裕弘 会長

また、原発がこれほど脆い作りだと思ったこともありませんでした。今後、日本で新しい原発を作ることができるでしょうか。どこが受け入れてくれるでしょうか。エネルギー資源の乏しい国で、低コストのエネルギーは現在のテクノロジーでは原発以外に無いと思われます。エネルギーコストが高くなると、生産拠点を海外に移す企業が更に増えてしまいます。これから日本が発展していくためには、エネルギーはどうしても必要です。その辺を政府、電力会社がどう考えていくのか、とても心配しているところです。以上、本日の会長報告とさせていただきます。

■会務報告

讃岐 武史 幹事

- (1)帯広北RC、3月25日（金）は休会。
- (2)帯広西RC、夜間例会（RAC合同）開催のご案内
日時 3月24日（木）午後6時30分
場所 北海道ホテル
- (3)帯広南RC、夜間移動例会開催のご案内
日時 3月28日（月）午後6時30分
場所 帯広ワシントンホテル
- (4)帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内
日時 3月29日（火）午後6時30分
場所 幕別パークホテル悠湯館
- (5)・帯広RC、3月30日（水）は休会。
・帯広西RC、3月31日（木）は休会。

▽来月のロータリーレートは80円
▽富良野RCから創立50周年記念式典参加依頼について
▽震災を騙った悪質なメールや詐欺に注意を。

■委員会報告

- ・ロータリー情報委員会 平原 隆 委員長
第2回情報集会「2010-11年度を振り返って」 4/6～20に開催を。
- ・ロータリー財団委員会 小澤 昌博 委員長



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 大江 徹 会員

- ・世界社会奉仕委員会 野村 文吾 委員長
飢餓地域での識字率を高めるための活動で、収集した古切手は現在3kgに。5月に発送するがこの後も随時受け付ける。
- ・出席報告 出席委員会
3/23例会の報告 会員総数90名 内免除会員10名 出席者数58名
3/9例会の報告 メークアップを含む出席者数68名 出席率81.9%

■退会あいさつ

清田幸孝会員の退会あいさつがありました。（千葉県木更津へ転勤）

■次週プログラム

- 3月30日「休会」
- 4月6日「プログラム委員会」（プログラム委員会）

ロータリーミニ見聞情報

ロシア連邦にロータリークラブはあるか？
ロシア連邦には2010-2011年度において、80RC活躍している。
RID2220 ウラル山脈の東地区…45クラブ
RID5010 ウラル山脈の西地区…
35クラブ（ロータリー公式名簿より）
ロシア連邦に行ったときにメークアップしてみたいか？



↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820

●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F
TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報

●委員長/倉野 賢

安岡美樹夫・池田 雄一・佐藤 有宏・宮坂 寿文

石原由美子・清田 幸孝・後藤 利之・高見 英樹

堀江 威光

●ホームページアドレス/http://www.obihiro-rc.jp